

東京大学駒場博物館 秋季特別展

東京大学駒場博物館所蔵第一高等学校絵画資料修復記念 知られざる明治期日本画と「一高」の倫理・歴史教育

東京大学駒場博物館には、本学教養学部の前身である旧制第一高等学校（一高、当時は第一高等中学校）より受け継がれてきた明治期の日本画が30点ほど保管されています。これらのほとんどは、当時の校長木下廣次によって構想された歴史参考室におかれるものとして発注され、開校間もない東京美術学校（現、東京藝術大学）の成立に所縁のある画家たちによって制作されたものです。内容は上代から江戸時代に至る歴史上の重要事件や人物、儀礼、風俗に取材したいわゆる「歴史画」であり、国史および倫理の教材としての役割を担っていたと考えられます。最初の作品が一高に納入されたのは1892（明治25）年、大日本帝国憲法の公布から三年後のことでした。

保存状態が良くなく、長らく公開することが不可能だった「第一高等学校絵画資料」は、本学大学院総合文化研究科と公益財団法人石橋財団の助成により修復され、このたび「知られざる明治期日本画と「一高」の倫理・歴史教育」と題する当館の秋季特別展として公開することになりました。

美術作品として優れたものであるこれらの絵画は、同時に明治時代の国のかたちと教育の姿を垣間見ることができるものでもあります。それは、文字によって書かれた史料だけでなく、絵画として描かれた美術品も

知られざる 明治期日本画と 「一高」の倫理・ 歴史教育

歴史資料としての価値を見いだすことができるということでしょう。本展では「第一高等学校絵画資料」を美術的な観点からだけでなく、教育的な観点からも考察していきます。

また、本展の記念シンポジウムを

12月2日（土）に開催する
予定となっております。

特別展、シンポジウム共に
事前申し込みや入場料は
不要です。お問い合わせの
上、是非お気軽にご来館
ください。



橋本雅邦「西行法師之図」一高受入1892（明治25）年3月25日



下村観山「蒙古襲来之図」一高受入1892（明治25）年3月25日



福地復一撰・下村春三郎（観山）画「元禄年間武家応対図」一高受入1893（明治26）年3月27日



川端玉章「八幡太郎図」一高受入1892（明治25）年3月25日



小堀頼音「田村将軍図」「菅公図」一高受入1892（明治25）年3月25日



お問い合わせ：東京大学駒場博物館 〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1
Tel:03-5454-6139 Fax:03-5454-4929
E-mail: komabamuseum@adm.c.u-tokyo.ac.jp

※会期中に展示作品の入れ替えを行います。各作品の展示される時期については当館ホームページ (<http://museum.c.u-tokyo.ac.jp/exhibition.html#Ichiko2017>) をご覧ください。